



*

NO. 3

 2012/3/1発行
 編集者 瀬川 和子

生活と平和を守るために サポートユニオン with YOU

567-0816 茨木市永代町4-ソシオⅡ-212号 TEL(FAX) 072-655-5415

 HP <http://www.withyou2011.com> E-mail withyou2011@mail.zaq.jp

障がい者の就労開発など政策的な要求実現のために 自治体議員との連携を深めていきます

サポートユニオンwithYOUは、ある相談者から、「労働組合に相談に行くところから目線でこうなさいなどといわれることに不快感を持っていたが、このユニオンは、ゆっくり話を聴いてくれて、自分で解決できなければ、また相談に乗りますよといってもらい良かったです」とのメールもいただきました。この姿勢を大切にしながら相談サポートをすすめています。

しっかり話を聴いて、何でも受け入れるサポートに徹しています

OCさんは数年前の脳障害で半身が自由に動かせない状況でしたが営業の仕事をしていました。また、ガイドヘルパーとして土日曜日には障がい者の外出介護の仕事もしていました。しかし、一昨年、勤務していた会社が倒産し、雇用保険で生計を立ててきましたが保険が切れた後、生活保護の申請を行いました。生活保護と自家用車の所有について、12月、高槻市福祉事務所生活福祉課との話し合いに同席し、「生活保護法で自家用

車の所有はだめであるが、申請者の生活状況により自動車を必要とするなら、即時に、自家用車の処分を求めない。」との回答を得ました。しかし、2月の2回目の交渉で、福祉課の一方的な「基本的に生活のための自動車は承認できない、通勤手段・営業手段としての自動車も原則承認できない」「4月で自家用車を手放してほしい」に対して、ユニオンは「障がいを持った生活保護者の通院および通勤のための自動車は認められている」「自立のために自営・営業用として認められ

ている」ことを厳しく追及しました。4月の3回目の交渉までに、生活福祉課に承認させるための書類を準備することになっています。

SMさんは、吹田にあるS学習塾に週2回勤務していましたが、2月に解雇の予告を受けました。このS学習塾は塾の講師を雇用するにあたって「労働契約」の文書も明示し取り交わしせず、口約束で、勤務期間及び勤務条件などを行っていることが判明しました。解雇の理由は、SMさんの授業の始まる前に「2人の子供が口げんかしていて、こ

れをいさめることができず、保護者から文句が出ていた」という些細なことが理由です。ユニオンと使用

者との交渉の結果、使用者が1か月の解雇予告手当をSMさんに支払うことで合意しました。今後、使

用者に「労働契約」を雇用者と文書で交わすように申し入れました。

ユニオン単独で、実現困難な政策的課題の解決のために

昨年8月に、鎌仲ひとみさんの「ぶんぶん通信」などを市民の人たちと観ることを通して、4市1町の学校給食課に食材の暫定基準値の見直しと公開をもとめて公開質問し交渉を行いました。この給食の問題解決で、私たちユニオンのめざすことと市(町)議会でのとりくみとがリンクできればもっと違った展開になっていたように思います。

私たちの今日的な政策的な要求である「障がい者の就労の開発」「放射線副読本の配布問題」「武道の必修化」などに関わって、市(町)会議員のみなさんとともに考え、一定の方向性が見いだされればと思っています。

「障がい者の就労の開発」では、withYOUのサポート会員になっていた5人の障がい者の進学や就労の願いを受け止めるものです。作業所での就労が、すべての障がい者の願いを受け止めるものではなく、実態として作業所での受け入れのキャパも厳しい状況だといわれています。障がい者の就

労は行政だけではなく、民間・商工会議所などへのアプローチも必要です。大胆な政策展開をしなければ現状を突破することはできない課題です。例えば、障がい者の雇用を受け入れた事業所への地方法人税などを軽減や、事業所への補助金を増やすことなども考えられます。

「柔道の必修化」では、全国柔道被害者の家族の会の高瀬典子さんからその問題点を指摘していた。指導者研修、指導者の複数配置などができなければ、4月からの必修化をやめるように運動していきます。「放射線副読本の配布問題」については、1月31日付で4市1町の教育委員会へ公開質問状を提出し、すべて市から回答を得ています。(3～8 ページまとめ) 島本町は「配布希望のあった学校について、その希望に則り配布事務を進める」とし、摂津市は「本副読本を小中学校の全児童生徒に配布いたしますが、具体的な活用方法については各校の判断としております」など、吹田市の「学校保管の

資料とし、個人への配布はしません」にくらべ、心許ない回答です。3月中に、島本町・摂津市と話し合う予定です。

小学生の障がいを持った子どもがいるユニオンのメンバーがいます。小学校の始まる前に、子どもを送り届けなければならない事情があり、8時30分の仕事に就くことが困難だと相談がありました。このような課題を解決していくために、家族の協力、地域のサポート、出勤時間の配慮、朝早くから子どもを受け入れるための小学校の体制……など、ユニオンとして解決のために頑張らなければならない課題はあるわけですが、共生社会の実現に向けてとりくまなければならない制度的、政策的な課題もたくさんあります。ユニオン単独で実現が困難な政策的な課題は、市(町)会議員とリンクが不可欠だと思っています。サポートユニオンwithYOUとして、この方向性を具体化していきます。

(島野正通)

文科省が作成した「放射線等に関する副読本」を 子どもたちに配布しないで下さい

1月31日、4市(高槻・茨木・吹田・摂津)1町(島本)教育委員会に公開質問状を発送し、2月20日までに文書回答が返信されてきました。なお、吹田市教委、高槻市教委および豊中市教委の回答は、他労働組合との交渉で確認した内容も含めてまとめています。(増田賢治)

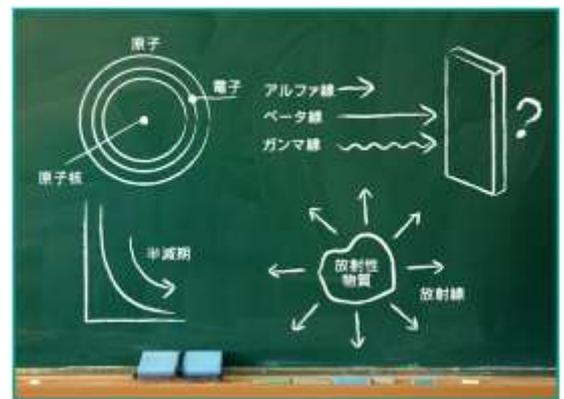
「放射線等に関する副読本」に対する私たちの思い

私たちは、子どもたちの被曝をできるだけ減らすことが最重要課題と捉え、子どもたち自身に「放射線は微量でも危ない」という意識を持たせることが大切と考えています。しかし、この副読本を使って「放射線は少々浴びても大丈夫」というような事実と反する教育を行えば、子どもたちの命と健康守ることはできないと思っています。

3. 11東京電力福島第一原子力発電所の過酷な事故は、今までの生活を根本から変えてしまいました。今、私たちに求められているのは、放射能汚染による被曝から身を守ることです。そして、原発や今後のエネルギーのあり方について、私たち一人ひとりが自分の考えを深め今後の国と社会の方向性を決めていく必要があります。そのためには、原発事故と放射能汚染の現実についての理解が必要です。

したがって、学校教育に於いても放射能と汚染についての基礎知識を学ぶ必要があります。

ところが、10月14日に文部科学省が副読本の作成を発表し、全国の小・中・高校で使われようとしている「放射線等に関する副読本」は、福島第一原発の過酷事故と放射能汚染の実態について一言も触れていません。この副読本によって、確かに放射性物質・放射能・放射線についての一定の基礎知識を学ぶことはできます。しかし、全体としては、原発事故がなくても自然界には放射性物質と放射線はいっぱいあり、人間は放射線に関する研究の成果として医療や産業をはじめあらゆる分野で有効活用していることが印象に残るように編集されています。そして、「100ミリシーベルト以



文部科学省の「放射線副読本」の一部

下の低い放射線量を受けることでがんなどの病気になるかどうかについては明確な証拠は見られていません。」と嘘までついています。

この副読本は、子どもたちをはじめ人々の放射線被曝に対する不安を打ち消し、何も心配せず今まで通りに行っていれば大丈夫だという意識を吹き込むためにつくられたものです。

要求 1 小・中学生のための文科省放射線副読本「放射線について考えてみよう」及び「知ることからはじめよう放射線のいろいろ」を子どもたちに配布しないで下さい。

要求 2 各学校に対して副読本を配布しないよう指示して下さい。

(茨木市教委)

本市では小学校5・6年、中学校1～3年の各学級に1冊ずつ副読本が送付されており、冊子を見習生に配布するのではなく学習指導要領に基づいた教材として適切な時期に活用していく予定です。

(吹田市教委)

学校保管の資料とし、個人への配布はしません。

昨年11月に文部科学省研究開発局開発企画課及び、初等中等教育局初等中等教育企画課より「配布希望部数等に関する調査」が届き、資料として活用できるよう小学校3年生から中学校3年生までの数を報告しました。

校長への指示は、放射線の学習をする場合は、この副読本だけで教えるのではなく、資料の一部として取り扱うよう伝えます。

(島本町教委)

島本町教育委員会として、配布希望のあった学校について、その希望に則り配布事務を進める。活用にあたっては、各学校の判断とする。ただ、留意点として、副読本を配布するだけで「指導」が行われないような実態がないよう、また、活用にあたっては、副読本解説編【教師用】の記載事項や指導上の留意点、また、現在の原発事故の状況を十分踏まえ、正しい知識をもって、偏見を生じさせない指導を行うよう、各学校に指導を行う。

(摂津市教委)

摂津市教育委員会といたしましては、本副読本を小中学校の全児童生徒に配布いたしますが、具体的な活用方法については各校の判断としております。なお、活用にあたっては、副読本解説編【教師用】の記載事項や指導上の留意点だけでなく、「福島原発事故」の状況等も踏まえた上で、正しい知識をもって偏見を生じさせない指導するよう、各校への指導を行います。

(高槻市教委)

文部科学省が作成した「放射線等に関する副読本」については、児童生徒への配布はせず学校保管といたします。また、学校への指示も完了しております。

(豊中市教委)

文部科学省「放射線等に関する副読本」につきましては、様々な意見があることをふまえ、学校保管用として副読本と解説編を各3部の送付を依頼することといたしました。

質問 1 昨年11月、中川文科大臣(当時)の挨拶文「保護者、学校関係者の皆様へ」で福島原発事故に触れ、「このような特別な状況に国民一人一人が適切に対処していくため」としながら当該副読本では原発事故に触れていないことについて。

(茨木市教委)

文科省大臣の発言と副読本の整合性について回答する立場にないと考えます。

(吹田市教委)

今回の事故に関して、原発の課題、放射線、エネルギーの問題等、子ども達へしっかり伝え、考えさせることはたくさんあります。この副読本だけを教材として全てを教えられるものではなく、あくまでも資料の一部であると考えます。

(島本町教委)

この副読本の位置づけが「放射線や放射能、放射性物質の基礎的に知識に関する指導の一助」であるので、「原発事故」についての記載が「ある」「ない」の是非が妥当かどうか判断し兼ねる。ただ、指導に際しては、現在の状況から「原発事故」には必然的に言及されるものとする。

(摂津市教委)

本副読本の「はじめに」において、「福島原発事故によって放射性物質が大気中及び海中に放出された」とあり、事故と関連つけた副読本作成の趣旨等の説明がございます。これは、文部科学大臣の挨拶文の趣旨と一致するものと考えます。当然、指導に際しても、原発事故には必然的に言及されるものだと考えております。

(高槻市教委)

本副読本は、子どもたちの発達段階に応じ、放射線について学び、自ら考え、判断する力を育成するために作成されたものであると認識しており、放射性物質、放射能、放射線に関する指導の一助として使用できるものと考えております。

(豊中市教委)

副読本の冒頭部分では福島原発事故に触れているものの、本文中においては今回の事故に関して重大な被害と影響が生じたことの実況が記載されておりません。したがって、事実を正しく理解することや、放射線から身を守る観点からも課題があると考えております。

質問 2 同文書中で、「放射線や放射能について学び、自ら考え、判断する力を育むことが大切である」とされていますが、当該副読本で「自ら考え、判断する力を育むこと」が可能かどうか。

(茨木市教委)

自ら考え判断する力を育成する方向で、副読本を活用することが大切だと考えます。

(吹田市教委)

「放射線や放射能について学び、自ら考え、判断する力」は、様々な教材を通してはくぐることが大切であり、この副読本だけでそれが可能とは考えていません。

(島本町教委)

一般に、教材や副読本は学習に際しての「ツール」であり、全てのツールがそれだけで「自ら考え、判断する力をはくぐ」ことができるわけではない。本副読本そのものが「能力育成を直接寄与するか否か」の論議は妥当でないとする。そういった能力をはくぐりためには、適切な「指導」が付随されるべきとする。

(摂津市教委)

副読本は学習に際しての教材の一つであり、それを読むだけで「自ら考え、判断する力を育む」ものではございません。このような力を育むためには、副読本を効果的に使用した適切な指導が必要であると考えます。

(高槻市教委)

本副読本は、子どもたちの発達段階に応じ、放射線について学び、自ら考え、判断する力を育成するために作成されたものであると認識しており、放射性物質、放射能、放射線に関する指導の一助として使用できるものと考えております。

(豊中市教委)

副読本は、教科用図書以外の図書その他の教材であり、有益適切なものはこれを使用することができるとされています。また、学習指導要領においては、中学校理科第1分野において放射線についての指導が記述されています。これらをふまえ、自ら考え判断する力は、様々な教育活動の中で学び、育んでいくことが大切であるとと考えております。

質問 3 当該副読本は放射線への不安を打ち消すことが目的だと思いますが、原発過酷事故に直面している現在、放射線に関する教育を行う際に学校や教員の役割をどのように考えるか。

(茨木市教委)

学習指導要領に則り、自ら考え判断する力を育む教育を行うことが必要と考えています。

(吹田市教委)

放射性物質・放射能・放射線について基礎知識を教えることと合わせて様々な意見があること、さらには被害に遭われた方々の心情も推し量り、風評被害やいじめが起らないよう配慮することが必要です。

放射線の問題だけでなく、各教科での指導や社会での出来事などの話をする場合も、その内容や使用する教材について、専門家を含め様々な意見や見方があることを教える事が教員の役割であると考えます。

(島本町教委)

いわゆる「福島差別」や、あまた風評被害が報告される現状にあって、偏見を生まない正しい知識の教授が必要と考える。その一端を担うべき教員の役割は大変大きいと考える。

(摂津市教委)

福島県からの児童生徒の受け入れ先で発生した(放射線への知識のなさから生じる)人権侵害事案などから考えても、子どもたちへの偏見を生まない正しい知識の教授が必要であると考えます。その意味でも教員の役割は大きいものと考えます。

(高槻市教委)

本副読本は、子どもたちの発達段階に応じ、放射線について学び、自ら考え、判断する力を育成するために作成されたものであると認識しており、放射性物質、放射能、放射線に関する指導の一助として使用できるものと思っております。

(豊中市教委)

副読本における放射線の人体への影響に関する記述は僅かであり、このことが詳しく書かれてあれば、科学的で正しい知識を児童生徒に対して指導することができるとともに、事故が発生した場合に備え、自らの身体を守る行動などを指導することができると考えております。

質問 4 当該副読本の中で、「一度に100ミリシーベルト以下の放射線を人体が受けた場合、放射線だけを原因としてがんなどの病気になったという明確な証拠はありません」という記述がありますが、適切な記述だと考えるか。

(茨木市教委)

低線量被曝の影響については、専門家の中に複数の見解があると認識しております。

(吹田市教委)

この部分を指導に用いる場合は、続く文章、小学生用では「しかし、がんなどの病気は、色々な原因が重なって起こることもあるため、放射線を受ける量はできるだけ少なくすることが大切です。」まで合わせて教えるよう配慮する必要があります。中学生用では、「国際的な機関である国際放射線防護委員会(ICRP)は、一度に100ミリシーベルトまで、あるいは1年間に100ミリシーベルトまでの放射線量を積算として受けた場合でも、線量とがんの死亡率との間に比例関係があると考えて、達成できる範囲で線量を低く保つよう勧告しています。」までを合わせて教えるよう配慮する必要があります。

(島本町教委)

この表現の限りでは、妥当であると考え。ただし、実際の指導場面においては、副読本解説編【教師用】に記載されている資料(放射線による人体への影響、がんのいろいろな発生原因等)にも留意、また補足を要すると考える。

(摂津市教委)

文章表記の限りでは妥当だと判断いたします。もっとも、実際の指導の場面においては、副読本解説編【教師用】に記載されている資料(放射線による人体への影響等)にも留意、また補足を要すると考えます。

(高槻市教委)

本副読本は、子どもたちの発達段階に応じ、放射線について学び、自ら考え、判断する力を育成するために作成されたものであると認識しており、放射性物質、放射能、放射線に関する指導の一助として使用できるものと思っております。

(豊中市教委)

放射線を研究する国際的な団体や研究者などは、放射線被曝は可能な限り低く抑えるべきとしており、低線量の影響について確実なことが分かっていないとしている現状から、様々な意見を表記することが望ましいと考えております。

質問 5 当該副読本は一番肝心の「子どもや妊婦への影響」について一言も触れられていませんが、この点についてどのように考えるか。

(茨木市教委)

子供や妊婦への影響については慎重に考えるべきだと思いますが、副読本に記載するかどうかは回答する立場にないと考えます。

(吹田市教委)

放射線に限らず、アルコールや薬など様々なもので成長期にある子どもや妊婦は影響を受けやすいことを理解させることは必要だと考えています。
したがって、この副読本だけを教材として全てを教えることができるものではなく、あくまでも資料の一部であると考えます。

(島本町教委)

指摘のとおりであるので、指導にあたっては補足されるべきであると考えます。

(摂津市教委)

指導にあたっては補足されるべきであると考えます。

(高槻市教委)

本副読本は、子どもたちの発達段階に応じ、放射線について学び、自ら考え、判断する力を育成するために作成されたものであると認識しており、放射性物質、放射能、放射線に関する指導の一助として使用できるものと思っております。

(豊中市教委)

放射線の年齢別感受性を比較した場合、大人に比べ乳児は4倍高くなるなどの研究結果があり、成長期で生命活動が活発である児童生徒も同様に放射線感受性が高いと言われており、大人より子どもや妊婦が被害を受ける可能性が高くなると考えております。これらをふまえ、児童生徒が正しい知識や、自らの身体を守ることを学ぶにあたり、危険性を理解することは大切なことであると考えております。

質問 6 原発過酷事故に直面している現状に於いて、子どもや親にとって当該副読本は知りたいことが書かれていると考えるか。

(茨木市教委)

子どもや保護者の知りたい情報は多様でありますので、回答は困難です。

(吹田市教委)

この副読本だけで様々な質問や疑問すべてに答えることはできません。あくまでも資料の一部であると考えます。

(島本町教委)

前述のとおり、本副読本の位置づけは、「放射線や放射能、放射性物質の基礎的に知識に関する指導の一助」であり、一定「統一的な基礎的な知識」を教授するものとして有効であると考えます。ただ、「放射能」に言及する時、必然的に福島原発事故について触れられるべきである。放射能に係る

偏見や人権侵害現象が多く生起する中、子どもたちには基礎知識を備えさせると同時に、福島原発事故の現状や避難生活の実態にも触れながら、指導していくことが必要であると考えます。

(摂津市教委)

本副読本は、福島原発事故の原因や実態についての報告書ではなく、「放射線や放射能、放射性物質の基礎的な知識に関する指導の一助」と位置づけられています。放射線についての理解不足から生じる、児童生徒及び保護者が持つ放射線等への必要以上の不安感の解消や偏見による差別事象の未然防止のためには一定有効であると考えます。もちろん、前述のとおり、本副読本の指導の際には、原発事故について言及されるものであると考えます。

(高槻市教委)

本副読本は、子どもたちの発達段階に応じ、放射線について学び、自ら考え、判断する力を育成するために作成されたものであると認識しており、放射性物質、放射能、放射線に関する指導の一助として使用できるものと思っております。

(豊中市教委)

今回の福島原発事故は、長期的に見ても様々な影響が起こるのではないかとの懸念もあります。また、児童生徒に対して事実と正しい情報を知ることが、差別や風評被害を防ぐ手立てとなると考えております。今後も、さらに放射線に関する科学的で正しい知識を理解することは、児童生徒や保護者にとって必要なことであると考えております。

いま、私の思っていること（1）



橋下さんは「リフォーム詐欺」みたいなものだけど……

北場逸人・学生20歳

橋下さんの支持層は若者だと指摘されている。反橋下の私にとってはリフォーム詐欺みたいなものだ。

橋下市政が誕生して「改革」なるものがすすめられている。市バスの運転手の給料をカットしたり、市に働く公務員の「思想調査」が行われたりもした。

橋下さんは、労働組合・公務員叩きをしている。若者から既得権益の権化みたいに公務員労働組合が見られているのには労働組合にも原因があるのではないかと。私が失望したのは「連合」が登録型派遣労働（※1）を削除した骨抜き

労働者派遣法の改正を容認したことだ。非正規労働者を多く雇用している電機連合出身の古賀会長だったこともあるのだろう。労働基本権も回復していないにもかかわらず公務員給与を一方向的に削減されたとき、抗議もせず、組織化もせず、闘わない労働組合は「死体」である。

既成政党のだらしなさが目立つ今の状況は、まさに、ワイマール共和国の末期みたいだ。

格差社会で被害を受けているのは私たちの世代である。私たちの世代は右傾化する。しかし、それでは状況は変わらない。私たち若者

が政治を変えるために、もっと政治に関わったり、新しい運動をつくっていくしかないと思っている。

※1「常用型」とは派遣会社が正社員などとして長期に雇用する。派遣先がないときも賃金を保証する。「登録型」とは仕事がある期間だけ数カ月単位で派遣会社と契約を結ぶ。仕事がある時だけ給与を支払う。

紹介したい人・紹介したいユニオン（1）

HTくんの支援者の **合田享史**（ごうだ・たかし）さんです。

ガイドヘルパーだけでなく、共に学び共に育つことを根っこにおきながら障害のある子どもたちのサポートをされています。現在のテーマは…障害のある子とない子の「共生共育」・障害のある生徒の高校進学だそうです。自己紹介をお願いします。

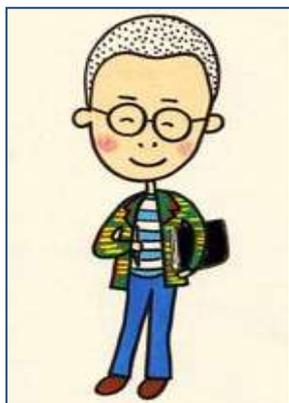


合田享史（ごうだ・たかし）さん（まっすぐプランニング代表）

取材・原稿執筆・編集の仕事のかたわら、ガイドヘルパー、障害のある生徒の学校生活支援員、ボランティア芸人（落語・マジック）としても活動する異色のライターです。広告制作会社、印刷会社勤務を経て、2006年にフリーランスとして独立しました。

ライフテーマは、障害のある子どもとない子どもの共生教育。障害当事者、保護者、教師の方々と交流しながら取材を続けています。

これまで、連載記事『枚方の「共に学び共に育つ教育」は今』（枚方市民発情報紙「LIP」）、『点数がとれなくても高校生に〜大阪における障害のある生徒の高校進学事情』（社団法人子ども情報研究センター「はらっぱ」2010年5月号）などを執筆。共生教育に関する最新情報をブログ『大阪発「ともに学び、ともに生きる教育」情報』（<http://massugu.way-nifty.com/tomonimanabu/>）で発信中。



パートナーの描かれた合田さんのイラスト

また、ライターとして、支援者として、夫として（私のパートナーは精神障害と肢体不自由の障害当事者です）、障害のある人たちと関わっている立場から、「ともに生きる」ことや「心のバリアフリー」をテーマにした人権講演も行っています。

3月中旬、私が構成を手がけた、茨木市在住の落語家、笑福亭學光さんの著書『めざせ！お笑い福祉士』（浪速社）（→）が出版されます。みなさま、ぜひお読みください。



合田さんも編集委員です。冊子はwithYOUに置いています。必要な方は連絡ください。



活動日誌 (12月~2月)



2011年

12月1日(木)

通信「withYOU」2号発行

12月2日(金)

〈週刊金曜日読者会〉原発問題

12月4日(日)

〈withYOU ジャーナル〉

「WTC 購入・移転の公金支出は違法・不当」(西谷文和さん講演)

12月9日(金)

生活保護(業務用乗用車所有問題)で高槻市福祉事務所生活福祉課と交渉①

12月11日(日)

脱原発署名(阪急茨木駅)

12月15日(水)

ハシズム・教育基本条例反対ビラ(阪急茨木市駅)

12月16日(金)

〈12月ミーティング〉財政問題



12月17日(土)

〈土曜シアター〉「終わらない戦争」上映・『日本軍』慰安婦水曜デモ1000回に連帯して(パンチョンジャさん講演)

12月20日(火)

関西ネット12月会議・関西ネット忘年会

12月24日(土)

大阪保育福祉専門学校の配置替問題で交渉(北摂ユニオン)

12月25日(日)

箕面市立中学校勤務の市費非常勤講師の継続雇用で面談/事務所大掃除・忘年会(ゆんたく)

2012年

1月6日(金)

新年事務所オープン

1月13日(金)

〈1月ミーティング〉年間計画の検討

1月14日(土)

〈週刊金曜日読者会〉ハシズム問題・社会保障と一体改革

1月21日(土)

職場と人権・NPO 労働と人権学習会「企業別労働組合とは」(熊沢誠さん)

1月22日(日)

茨木の生活協同組合理事と意見交換:食育・原発で共同のとりくみを模索/〈withYOU ジャーナ

ル〉「どうなる社会保障と年金のゆくえ」(奥野省治郎さん)

1月23日(月)

NPO「労働と人権サポートセンター・大阪」団体加盟

1月28日(土)

「教えられなかった戦争」沖縄編「阿波根昌鴻・伊江島の闘い」

1月31日(火)

ハシズム・教育基本条例反対ビラ(阪急茨木市駅) / 「放射線副読本」の配布問題で4市1町に公開質問

2月7日(火)

〈レンタル教室〉「時事英語」隔週火曜日で始まる/ハシズム・教育基本条例反対ビラ(阪急茨木市駅)

2月11日(土)

〈週刊金曜日読者会〉ハシズム・消費税・社会保障



2月12日(日)

「日の丸・君が代」ホットライン開設集会(エル大阪) / ハシズム反

対大阪市役所包囲行動

2月17日(金)

〈2月ミーティング〉ユニオンの政策要求と議員との連携



2月18日(土)

〈土曜シアター〉

「MBS-VOICE2-16・17」 「やっぱり危ない・教育基本条例」(井前弘幸さん)・教育基本条例に反対する北摂市民の会と共催

2月19日(日)

服部良一を励ます会・社民党旗開き(グランピア大阪)

2月20日(月)

茨木市立太田小学校3年「わたしのからだはわたしのものよ」(エ

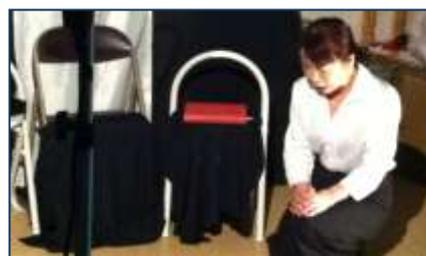
ンパワメントいばらき)授業見学

2月21日

「共にとりくみたい課題について」市民派議員へ文書郵送

2月24日(金)

生活保護(業務用乗用車所有問題)で高槻市福祉事務所生活福祉課と交渉②



2月25日(土)

〈withYOU ジャーナル〉一人芝居「花の氷柱II(戦後編)」(二人だけのセザンヌ:遠藤久仁子さん)

2月29日(水)

ハシズム・教育基本条例案反対!大阪市役所一大阪府庁抗議デモ

トワイライト@ひろば

高校生1名・中学3年生2名・
中学1年生1名

レンタルBOX

東日本大震災支援(岩手県物産品)・障がい者協働作業所ぷくぷくの会支援(クッキー) 廃業にともなう商品販売(春日筆)・高齢者生きがい支援(小物・袋物)・パッチワーク・陶器・環境に優しいオーガニック商品など

レンタル教室

韓国語中級(毎週木曜日夜)
時事英語(隔週火曜日昼)

4月23日(月)
韓国語初級
体験講座やります

興味のある人申し込みを

総収入		413570
会費		227110
	会費	95000
	サポート会費	41250
	カンパ	90860
事業費		182810
	withYOUジャーナル	24000
	土曜シアター	29000
	週刊金曜読者会	7000
	めたか	19500
	トワイライト@ひろば	4600
	東北支援・岩手物産	34510
	レンタルBOX	33620
	レンタル印刷機	11790
	レンタル教室	11030
	書籍・その他販売	0
	その他事業(介ヘルパー)	3000
雑費		8410

総経費		453706
経常経費		286736
事務所費	事務所賃貸・管理費・火災保険	240630
光熱費	電気・水道	20826
情報通信費	JCOM	25280
事業経費		166970
備品費	事務・情報…	0
事務消耗費	一般事務用品	4002
通信費	ユニオン通信・切手等	17426
事務所事業費	事務所事業(震災支援・事務所活動・土曜・withYOU)	44272
イベント費	総会・会議・講師料…	35050
共同運動費		13000
印刷費	コピー用紙・インク・名刺・業者印刷…	47888
雑費	接待用・菓子	5332
資料費	書籍・DVD	0
その他		0



会計報告

(2011年12月～2012年2月)

編集後記



■大阪府議
会では悔し
いながら
「教育行政

基本条例案」可決の公算が大きい。大阪市では「選挙という民意で選ばれた自分が市の教育行政に関する方針を定めようとするのは民意」と言って憚らなかった橋下徹は、かってナチスドイツの敗戦が目の前に迫ったときに「民主的な選挙で選ばれたのだから選んだ国民に責任がある」と言いかけたヒットラーと似ている。ヒットラーと同じようにいざとなれば市民、府

民を見殺しにするのだろう。

維新の会は「船中八策」なるものを掲げ大阪地域から日本の政治的大改造を目論んでいる。その強権的、支配的、独善的國家主義的な政策は極右地域政党と呼ぶにふさわしい。元々、「船中八策（せんちゅうはっさく）」は、幕末土佐藩の坂本龍馬が慶応3年に起草した新国家体制の基本方針、とされるものである。（ウキペディア参照）その時代から150年経った現在、橋下・維新の会によって日本崩壊へ導く政策にすり替えられようとは坂本竜馬も思いもよらなかったことだろう。竜馬のファ

ンよ怒るべし！

■労働者の解放に生涯を捧げられた豊田正義さん（関西労災職業病研究会代表・大阪北摂労災職業病対策事務局長）が亡くなられた。三池のCO大災害闘争などへの彼の闘争姿勢から多くの事を学ばせてもらった。巷に数多く各賞あふれるけれど僕個人としては何がしの賞を差しあげたい一人である。

■10月に仕事中にバイクで転倒、怪我、入院と災難にあった。もう5カ月になるが階段の上り下りが不完全。仕事復帰までは好きな飲み会もガマン、ガマン。リハビリで頑張ります。（勝）

【土曜ジャーナル】 500円

3-31(土) 18:30~「南京！南京！」(2009年中国・陸川監督・125分) 解説: 中西幸雄さん(元教員)

★「死人に口なし」で「ドキュメンタリー映画」ではない。虐殺が「あったか」「なかったか」は歴史的に証明されている。どのような蛮行がなされたかを学ばなければならない。河村発言を許さないためにも

【withYOU ジャーナル】 500円

4-14(土) 16:00~「開発途上国へのサポートの視点」(バングラディシュ) お話: 大泉高明さん

★アジアに目を広げながら貧困問題とサポートを考えます。

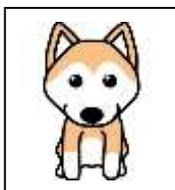
4-21(土) 18:00~「どないなるねん！大阪の教育を考えるシリーズ①」

お話: 齊可尚代さん(毎日放送記者)

★報道番組 MBS[VOICE]で取り上げられたアメリカの「落ちこぼれゼロ法」と橋下「教育基本条例」を考えます。

【週刊金曜日読者会】 500円

4- 7(土) 14:00~「ガレキ問題」「ハシズム」問題を考えます

会費・
カンパの
お願い

▼12年12月から3か月間の間に、3名の会員、12名のサポート会員を新しく仲間を迎え入れることができました。それでも、3か月の収支は4万円の赤字となっています。(p11) ▼4月から第2次のひとり親家庭の子どもの無料塾（トワイライト@ひろば）を始めるなど、活動を広げたいと思っておりますが、ボランティアサポートさんに交通費も払えないという状態です。▼1か月、コーヒー一杯の250円のサポート会員（年会費3000円）になっていただければとてもうれしいですし、ユニオンの支援のカンパをいただければとてもありがたいです。(越智清光)

◎ 宛名シール S: サポート会員 M: 会員 K: カンパ

1206: 12年6月まで納入を表しています